

加戸知事(左)と懇談する村上行革相(県庁で)



## 「地域再生をバックアップ」 村上行革相が県庁訪問

村上誠一郎・行政改革相

は七日、県庁を訪れ、加戸知事から、県内の公共施設における木材利用推進構想の実現など、構造改革特区や地域再生にかかわる要望を受けた。村上行革相は「できる限りバックアップをしたい」と述べた。

このほか、要望書では、三月末で西条中央保健所に統合される新居浜保健所の施設を転用して養護学校を新設することや、県立中央病院が製造したがん細胞を映像化する無認可の薬剤について、薬事法で禁じられている製造病院以外での使

用を認め、近隣医療機関に提供できるようにする規制緩和などを求めている。

加戸知事との懇談後、会見した村上行革相は、「財政状況が非常に厳しい中だが、地方の特色を生かすアイデアについては最大限支援する」とした。

また、国と地方の税財政を見直す三位一体改革で検討されている義務教育費の国庫負担金削減について、「教育は、将来を支える人づくりの上で国の根本。単なる削減は一時しのぎに過ぎない」との考えを示した。